

皆さんからの近況報告を聞いて！

●春日部地区浦高会賀詞交歓会（早春懇親会）！

3月5日(日)は、3年ぶりに「春日部地区浦高会賀詞交歓会（早春懇親会）」を開催することができ、会員15名が出席してくださいました。最年長が高校2回卒の大島齋礼さん(92歳)、最年少が47回卒の伊藤貴成さん(46歳)と3世代の会員が集まり、約2時間にわたり懇親を深めました。



最初に会長の私から「皆様、こんばんは。3年ぶりの賀詞交歓会を開催することができホッとしております。会長を仰せつかって3年目になりますが、お配りしました資料のように、今年度は書面決議の総会の他に“浦高百年の森活動”への参加、ゴルフコンペなどを行ってまいりました。ただ全体での活動ができず大変残念に思っており、今後は何とか総会も含めて皆様に集まっていただく機会を増やしたいと思います。また、本部同窓会の副会長も務めておりますので同窓会全体の話させていただきますと、野辺会長の下で同窓会の法人化、金融麗和会、商社麗和会といった新たな地域職域同窓会が誕生し、新たな動きもございます。本日は久しぶりの同窓会、ゆっくりとご歓談いただければ幸いです」とご挨拶。

その後、歓談後に出席された皆様から近況報告。

◆伊藤貴成さん(47回)：柔道部OBの伊藤です。リモートワークに慣れて3年、違和感なく仕事をしております。通勤時は幕張まで行っておりましたので7~8千歩、家では1千歩と運動不足です。プライベートでは柔道のコーチをしており、幹事の林亮平君とは毎週お目にかかっています。長男が来年大学受験、二番目が市内の県立高校に今年合格し、末娘が小学校6年とあっと言う間に育ちました。

◆由木智さん(36回)：皆様の推薦で浦高同窓会の理事に選任され、昨年から全体総会にも出席し、知り合いとの懇親会などを楽しんでおります。市内で歯科医院を開業しており、息子が歯学部に通い、娘が大学受験生です。よろしく願いいたします。

◆橋本吉正さん(19回)：埼玉県庁に努めていた49歳の時に脳出血を起こし25年が過ぎましたが、家族や皆さんのおかげでこうして出席することができ嬉しく思っています。最近は読み書きが不便になっていることと、緊張する場面がうまくいきません。由木先生にもお世話になっています。

◆石塚善幸さん(13回)：相変わらず歩くこと、歩くことを続けています。今週も火曜日から金曜日まで西国33か所巡りをして京都、滋賀を歩いてきましたが、山の上にあるお寺が多く、彦根では雪の中を歩き、道に迷ったりしましたが無事に帰ってくることができました。33か所巡りもあと1か所です。

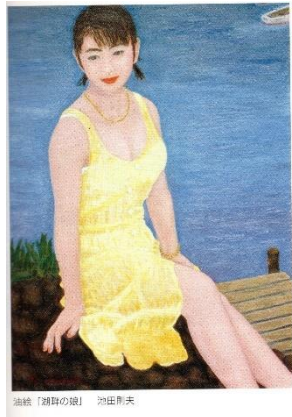
◆石塚勝巳さん(13回)：今年傘寿(80歳)を迎えます。千葉県生涯大学校を3月に卒業し、4月からシルバー大学に通う予定です。NPO活動もっており、NPO法人シーエスアールスクエアで、8月にベトナムに行ってきました。ラオス国境付近ではダイオキシンにより汚染された水を飲んでいる人たちが多く、そうした実態を見て浄化設備10基を地元を設置する計画を日本財団に提案し、来月、その設置場所等を視察に行く予定です。先月、NPO法人の代表者が横浜で講演する機会があり、湘南浦高会会長の平井隆一さんや同期の今井修一さんなどお目にかかる機会がありました。

◆石田知己さん(16回)：春日部育ちではありませんが、長年会員としてお世話になっております。先ほど“浦高百年の森”活動が7月15日と11月12日に予定されていると伺いメモしました。百年の森は皆勤賞で行っていますが、その前後には医者にもお世話になっており、77歳という年を感じております。ただし、日程を聞いた以上は参加できるように努力します。

◆田村友彦さん(16回)：今日は古利根川清掃を行ってまいりましたが、若い人たちも出て来られて良かったと思います。私も喜寿を過ぎ、間もなく80歳になりますが、元気に山登りなどに行っています。これが健康の秘訣だと思いますが、足腰が元気であればなりませんね。

◆鈴木剛さん(28回)：春日部地区浦高会に参加した理由は、息子が浦高に入学するので、少しでも学校の情報を得ることができるのではないかとということに入会したのですが、全く情報を得ることができませんでした。それでも、こうして元気に参加することができ嬉しく思っています。そんな息子は、嫁の実家の近く国分寺に住んでおり、浅草に居る娘が孫と一緒に遊びに来てくれるのが楽しみになっています。税理士ですので、この時期は少しだけ忙しくしておりますが、定年がなく元気な間は仕事を続けていこうと思っています。今年もゴルフコンペへの参加をお願いいたします。

◆池田則夫さん (11 回) : 家内が昨年病気を患い、なかなか外出することができませんでしたが、施設に入れたことでこうして自由に動けるようになりました。ただ独り身は自由ですが、毎朝 10 時頃まで何もせずについて、朝と昼を兼ねた食事、そして夕食とプラスチックゴミの多い生活をしています。ゴルフも元に戻れるようにしたいと考えています。最近、2001 年に同期で作った還暦記念誌『広き宇内に』を読んでいるのですが、かつて自分が書いたことを読み返すのも面白いものです。



油絵「湖畔の娘」 池田則夫

【右写真は、記念誌に掲載された池田さんの油絵『湖畔の娘』。記念誌の池田さんの寄稿タイトルは『時の流れに身を任せ』でした。香田註】

◆鳥井隆一郎さん (11 回) : 春日部地区浦高会では発足から 20 年間役員をやってきて、ここ 3 年、コロナ禍で皆さんになかなかお目にかかれないことを寂しく思っていました。こうして賀詞交歓会が開催されたことを嬉しく思います。私は 5 月生まれですので間もなく 83 歳、元気に週 1 回のテニスと月 1 回のゴルフなどをしてい



ますが、数年前から脊柱管狭窄症になり、朝起きると布団の上で 20 分間のストレッチをしてから動き出しています。今日は浦高 100 周年ポスター【写真上】を香田さんに引き継ぐためにお持ちしました。

◆三輪昭彦さん (15 回) : 本日出席の橋本さんと田村さんが姻戚関係で普段からも仲良くしているのですが、元気に出席できて幸いです。高校時代はラグビー部で、そうした仲間やロータリークラブの先輩たちからのお声掛けがあり、2001 年に春日部地区浦高会を設立しましたが、もう 23 年が経つのですね。春日部地区は、20 幾つかある地域職域同窓会の中でもユニークな団体として名声を得ています。母校を高め、同窓会活動を活性化させるためにも、春日部地区浦高会の活動が活発になることを期待しております。コロナ禍も沈静化するようですので、ぜひ団結して活動してまいりましょう。

◆大島斎礼さん (2 回) : 旧制浦中で入学し、新制浦高で卒業した数少ない世代の一人です。現在も杉戸町で体操とフットサルを教える NPO 法人すぎスポで体操の指導をしています。車の運転免許を返納

したため、指導するためにタクシーで自宅と会場とを往復しています。92 歳になり終活をしています。「人生はあみだくじ」というのが現役時代の印象です。現役時代は銀行員で日本橋支店の時には 3 人の支店長に仕えました。その 3 人は飲む人、麻雀が好きの人、ゴルフが好きの人と癖があり、いろいろなことがありました。良い上司に仕えることもあり、悪い上司に当たることもあり、これが「人生はあみだくじ」だと思った所以です。私自身も 5 支店長を経験しましたが、お陰様で事故もなく無事退職することができました。その後も、日本体協協会に関わり、平々凡々と最終を迎えたいと思います。



【写真は、大島さんが載ったタウン紙】

◆長岡成郎さん (11 回) : 皆さんは健康診断を頻繁に受けられているでしょうが、医師の私は自分でできる健康診断はやりますが、自分でコントロールできない病気に関しては検診を受けていません。血糖値やコレステロール、血圧というものはコントロールできますが、癌や突然の出血などは検診を受けていてもそうそう見つかるものではありません。癌や出血などは症状が発生したら共存していくしかないと思っています。今回のコロナ騒動も、3 年間マスク無し、人込みへ出かけることもしましたが、問題はありませんでした。コロナ禍に対して、国はワクチン接種を推奨しましたが、ワクチン接種により免疫力が低下することについては公表されず、またメディアでも騒がれませんでした。何を信じるかは個人の自由ですが、さまざまな見方があるということ覚えておいてください。私は、毎日 9 時に寝て、5 時に起きて乾布摩擦をして健康維持をしています。

◆竹内透さん (44 回) : 私はワクチンを 2 回接種しました。仕事は社会保険労務士を開業しており、社労士仲間ソフトボールチームを作り、現在、監督を務めています。もし、入会されたいという方は歓迎します。2 月にソフトボール大会があり、ボールが胸に直撃し激痛が走りました。その時は痛かったのですが、間もなく症状がなくなったので医者に行かなかったのです。すると 3 日後に胸に激痛が走り、レントゲンを撮ってもらうと肋骨にヒビが入って…、それでも大丈夫と思い込んでいる昨今です。